

2 大豆

(1) 国際的な大豆需給の概要

○2008/09年度の大豆需給（予測）のポイント

大豆の供給面では、昨年度にとうもろこしへの作付転換により縮小した米国の作付けが、大豆価格の高騰やとうもろこしの連作障害への懸念などから拡大するものの、南米が干ばつの影響を受ける見込みであり、世界の生産量は減少が見込まれている。

需要面では、中国等で搾油用需要を中心に拡大するものの、米国等で減少し、世界の消費量は減少が見込まれている。

期末在庫量については、消費量が生産量を上回ることから、期末在庫率は前年度を下回ると見込まれる。

【生産量】

生産量は、世界第1位の生産・輸出国である米国の作付けが拡大するものの、南米のアルゼンチン、ブラジル、パラグアイで減少し、世界全体では前年度より2.0百万トン減少（▲0.9%）し、218.8百万トンとなる見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は、世界全体で4.5百万トン下方修正されており、国別にはアルゼンチン、インド、パラグアイで下方修正された。

【消費量】

消費量は、中国等で搾油需要を中心とした増加が見込まれるものの、米国、EU、アルゼンチンで減少し、世界全体では前年度より4.4百万トン減少（▲1.9%）し、225.4百万トンとなる見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は、世界全体で0.3百万トン下方修正されており、国別にはEU、インド等で下方修正され、ブラジル等で上方修正された。

【貿易量】

世界全体の貿易量は、前年度より5.4百万トン減少（▲6.8%）し、74.1百万トンとなる見込みである。

国別には、輸出国ではアルゼンチン、パラグアイ等で輸出量の減少が見込まれている。一方、輸入国では、貿易量の約5割を輸入する中国で豊作から輸入量が減少に転じ、EUも輸入量の減少が見込まれている。

なお、前月の予測からの改訂は、世界全体で0.7百万トン下方修正されており、国別にはアルゼンチン等の輸出量とEU、アルゼンチンの輸入量が下方修正され、米国、ブラジルの輸出量が上方修正された。

【期末在庫量】

期末在庫量は、消費量が生産量を上回ることから世界全体では前年度より7.3百万トン減少（▲13.7%）し、45.8百万トンとなり、期末在庫率は20.3%（2.8ポイント減）と前年度を下回る見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は、世界全体で4.1百万トン下方修正されており、国別にはアルゼンチン、ブラジル、米国等で下方修正された。

表－1 世界の大豆需給

年 度	2006/07	2007/08 (見込み)	2008/09 (単位:百万トン)		
			予測値	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	237.4	220.8	218.8	▲ 4.5	▲ 0.9
米国	87.0	72.9	80.5	-	10.5
ブラジル	59.0	61.0	57.0	-	▲ 6.6
アルゼンチン	48.8	46.2	39.0	▲ 4.0	▲ 15.6
中国	16.0	14.0	16.8	-	20.0
インド	7.7	9.3	9.7	▲ 0.3	4.3
パラグアイ	6.2	6.8	3.9	▲ 0.1	▲ 42.6
カナダ	3.5	2.7	3.3	-	22.2
消費量	225.5	229.8	225.4	▲ 0.3	▲ 1.9
うち搾油用	195.9	201.7	195.1	▲ 0.3	▲ 3.3
中国	46.1	49.8	51.0	-	2.4
米国	53.5	51.6	49.0	▲ 0.0	▲ 4.9
アルゼンチン	35.1	36.2	35.3	0.0	▲ 2.4
ブラジル	34.0	34.9	34.6	0.4	▲ 0.9
EU-27	16.1	16.1	14.0	▲ 0.3	▲ 13.4
インド	7.7	9.2	9.7	▲ 0.3	5.1
日本	4.3	4.2	4.3	-	0.9
貿易量	71.5	79.5	74.1	▲ 0.7	▲ 6.8
(輸出)					
米国	30.4	31.6	32.9	0.7	4.2
ブラジル	23.5	25.4	25.1	0.2	▲ 0.9
アルゼンチン	9.6	13.8	10.1	▲ 1.6	▲ 27.0
パラグアイ	4.5	5.1	2.4	▲ 0.0	▲ 53.7
カナダ	1.7	1.8	1.9	-	7.0
(輸入)					
中国	28.7	37.8	36.0	-	▲ 4.8
EU-27	15.3	15.1	13.1	▲ 0.5	▲ 13.9
日本	4.1	4.0	4.0	-	▲ 0.3
メキシコ	3.8	3.7	3.4	-	▲ 6.8
台湾	2.4	2.1	2.4	-	9.4
アルゼンチン	2.0	3.0	1.8	▲ 0.2	▲ 40.8
タイ	1.5	1.7	1.7	-	▲ 4.8
期末在庫量	62.7	53.1	45.8	▲ 4.1	▲ 13.7
アルゼンチン	22.6	21.8	17.1	▲ 2.6	▲ 21.4
ブラジル	18.2	19.1	16.4	▲ 0.7	▲ 14.0
中国	2.7	4.2	5.6	-	31.7
米国	15.6	5.6	4.5	▲ 0.5	▲ 19.6
EU-27	1.1	0.8	0.6	▲ 0.2	▲ 25.6
期末在庫率	27.8%	23.1%	20.3%	▲ 1.8	▲ 2.8

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「Oilseeds: World Markets and Trade」
「World Agricultural Production」

(2) 大豆の主要生産・輸出国等の需給状況

ア 米国 【需給状況】

米国の生産量は、主産地である中西部での生育期における天候不順や洪水による生育の遅れが見られたものの、昨年度に大幅に縮小した作付けが大豆価格の高騰やとうもろこしの連作障害への懸念などから拡大しており、前年度より7.6百万トン増加（10.5%）し、80.5百万トンとなる見込みである。

消費量は、搾油用以外での消費が増加するものの、搾油用の消費は減少すると見込まれることから消費量は前年度より2.6百万トン減少（▲4.9%）し、49.0百万トンとなる見込みである。

輸出量は、南米の輸出量が減少し、米国に輸出需要が集中すると見込まれることなどから、1.3百万トン増加（4.2%）し、32.9百万トンとなる見込みである。

この結果、期末在庫量は、1.1百万トン減少（▲19.6%）し、4.5百万トンとなり、期末在庫率は5.5%（1.2ポイント減）と低下する見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は搾油用の下方修正により消費量がわずかに下方修正され、南米の輸出量の減少を補う形で輸出量が0.7百万トン上方修正され、輸入量が0.1百万トン上方修正された。この結果、期末在庫量が0.5百万トン下方修正された。

【生育進捗状況及び作柄】

米国の大豆の主要18州の収穫は2008年11月頃に終了した。

作柄については、優良が12%と前年度最終より下回っているが、優良～普通までの合計では86%と前年度の最終の83%を上回っている。

なお、2009/10年度の大豆の作付は5月頃に始まる。

我が国の輸入先国シェア 1位（2008年数量ベース73.5%）
世界の生産量シェア 1位（2008/09年度36.8%）
輸出量シェア 1位（2008/09年度44.5%）

表－2 米国の大豆需給（市場年度：9月～翌年8月）

(単位:百万トン)

年 度	2006/07	2007/08 (見込み)	2008/09		
			予測値	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	87.0	72.9	80.5	-	10.5
消費量	53.5	51.6	49.0	▲ 0.0	▲ 4.9
うち搾油用	49.2	49.0	44.5	▲ 0.1	▲ 9.2
輸 出 量	30.4	31.6	32.9	0.7	4.2
輸 入 量	0.3	0.3	0.3	0.1	22.2
期末在庫量	15.6	5.6	4.5	▲ 0.5	▲ 19.6
期末在庫率	18.6%	6.7%	5.5%	▲ 0.7	▲ 1.2
(参考)					
収穫面積(百万ha)	30.19	25.96	30.21	-	16.4
単収(t/ha)	2.88	2.81	2.67	-	▲ 5.0

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「Oilseeds: World Markets and Trade」、
「World Agricultural Production」

○ 米国大豆の作柄

〔作柄〕

単位:%

		優良	良	普通	不良	極不良
大豆	2008/09	12	45	29	10	4
	前年度同時期
	前年度最終	14	43	26	11	6

注：優良-Excellent、良-Good、普通-Fair、不良-Poor、極不良-Very Poor

資料：USDA「Crop Progress」ただし、作柄については10月12日報告のデータである。

注：生育進捗状況の（ ）内は前年同時期及び同時期の平年値（過去5年）との比較である。

イ ブラジル

【需給状況】

ブラジルの生産量は、金融危機による資金調達の困難性や肥料価格高騰などの影響を受け、前年度より4.0百万トン減少（▲6.6%）し、57.0百万トンとなる見込みである。

消費量は、搾油用の減少に伴い前年度より0.3百万トン減少（▲0.9%）し、34.6百万トンとなる見込みである。

輸出量は、生産量の減少に伴い前年度より0.3百万トン減少（▲0.9%）し、25.1百万トンとなる見込みである。

この結果、期末在庫量は、2.7百万トン減少（▲14.0%）し、16.4百万トンとなり期末在庫率も27.5%（4.2ポイント減）と低下する見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は、2007/08年度の消費量が0.1百万トン上方修正されたことで2008/09年度の期首在庫量が0.1百万トン下方修正され、搾油用消費量が0.4百万トン、輸出量が0.2百万トン上方修正された。この結果、期末在庫量が0.7百万トン下方修正された。

【生育進捗状況及び作柄】

ブラジルの大豆は、ブラジル南部では11月中旬から1月にかけて、深刻な干ばつがあった。2月には降雨があったものの、南部に位置するパラナ州の単収は前年度に比べ2割程度低下する見込みである。大豆の収穫進捗率は、4月18日現在で79%が終了している。

ウ カナダ

【需給状況】

カナダの生産量は、前年度に低下した単収が上昇する見込みであることから、前年度より0.6百万トン増加（22.2%）し、3.3百万トンとなる見込みである。

消費量は、前年度より0.1百万トン減少（▲3.0%）し、1.6百万トンとなる見込みである。

輸出量は、生産量が回復するものの在庫が低水準にあることなどから、0.1百万トン増加（7.0%）し、1.9百万トンとなる見込みである。

この結果、期末在庫量は、前年より0.1百万トン増加（52.4%）し、0.3百万トンとなり、期末在庫率は9.9%（3.3ポイント増）となる見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は行われていない。

【生育進捗状況及び作柄】

カナダの大豆は2008年11月頃に収穫が終了した。

なお、2009/10年度の大豆の作付は5月頃に始まる。

〔我が国の輸入先国シェア 2位（2008年数量ベース 15.3%）
世界の生産量シェア 2位（2008/09年度26.1%）
輸出量シェア 2位（2008/09年度33.9%）〕

表－3 ブラジルの大豆需給（市場年度：10月～翌年9月）

年度	2006/07	2007/08 (見込み)	2008/09		
			予測値(Oil.W)	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	59.0	61.0	57.0 (57.5)	-	▲ 6.6
消費量	34.0	34.9	34.6	0.4	▲ 0.9
うち搾油用	31.1	31.9	31.7 (32.0)	0.4	▲ 0.9
輸出量	23.5	25.4	25.1 (23.6)	0.2	▲ 0.9
輸入量	0.1	0.2	0.1	-	▲ 66.7
期末在庫量	18.2	19.1	16.4 (21.5)	▲ 0.7	▲ 14.0
期末在庫率	31.6%	31.6%	27.5%	▲ 1.5	▲ 4.2
(参考)					
収穫面積(百万ha)	20.70	21.30	21.40 (21.30)	-	0.5
単収(t/ha)	2.85	2.86	2.66 (2.70)	-	▲ 7.0

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「Oilseeds: World Markets and Trade」、
「World Agricultural Production」、
OIL WORLD「OIL WORLD Monthly (March 27, 2009)」

〔我が国の輸入先国シェア 3位（2008年数量ベース 8.8%）
世界の生産量シェア 7位（2008/09年度 1.5%）
輸出量シェア 5位（2008/09年度 2.6%）〕

表－4 カナダの大豆需給（市場年度：8月～翌年7月）

年度	2006/07	2007/08 (見込み)	2008/09		
			予測値(AAFC)	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	3.5	2.7	3.3 (3.3)	-	22.2
消費量	2.0	1.7	1.6 (1.9)	-	▲ 3.0
うち搾油用	1.5	1.4	1.3	-	▲ 6.0
輸出量	1.7	1.8	1.9 (1.8)	-	7.0
輸入量	0.2	0.3	0.4 (0.5)	-	13.3
期末在庫量	0.7	0.2	0.3 (0.3)	-	52.4
期末在庫率	18.4%	6.6%	9.9% (8.3%)	-	3.3
(参考)					
収穫面積(百万ha)	1.20	1.17	1.21 (1.20)	-	3.4
単収(t/ha)	2.88	2.31	2.73 (2.79)	-	18.2

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「Oilseeds: World Markets and Trade」、
「World Agricultural Production」、
AAFC「Pulse and Special Crops Outlook (March 6, 2009)」

エ 中国

【需給状況】

中国の生産量は、北東部の作付け面積の増加と昨年度干ばつにより低下した単収の回復が見込まれることから、前年度より2.8百万トン増加（20.0%）し、16.8百万トンとなる見込みである。

消費量は、搾油用需要の増加等から前年度より1.2百万トン増加（2.4%）し、51.0百万トンとなる見込みである。

輸出量は、前年と同水準の0.5百万トンとなる見込みである。一方、輸入量は生産量の増加に伴い1.8百万トン減少（▲4.8%）し、36.0百万トンとなる見込みであるが、なお世界の貿易量の約5割を占めている。

この結果、期末在庫量は、生産量の増加により積み増しされることから前年度より1.3百万トン増加（31.5%）し、5.6百万トンとなり、期末在庫率も10.9%（2.4ポイント増）となる見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は行われていない。

【生育進捗状況及び作柄】

中国北東部の主要産地では、2008年8月初旬に適度の降水量に恵まれ、大豆の生育は順調に推移し、10月頃に収穫を終えた。

【貿易情報】

中国については、増値税の輸出還付を取消し、輸出税を課している。12月1日からは、黄大豆と種子用大豆を除き輸出税は撤廃された。なお、一般的に味噌・豆腐・納豆等に用いられているのは黄大豆で、5%の据置き。

オ アルゼンチン

【需給状況】

アルゼンチンの生産量は、価格高騰による作付け拡大やとうもろこしの生産コスト高などによる大豆への作付転換などが行われたものの、干ばつにより収穫面積が減少し単収が低下したことから、前年度より7.2百万トン減少（▲15.6%）し、39.0百万トンとなる見込みである。

消費量は、搾油用需要の減少から前年度より0.9百万トン減少（▲2.4%）し、35.3百万トンとなる見込みである。

輸出量は、3.7百万トン減少（▲27.0%）し、10.1百万トンとなる見込み。

この結果、期末在庫量は、前年度より4.7百万トン減少（▲21.4%）し、17.1百万トンとなり、期末在庫率は37.7%（5.9ポイント減）と低下する見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は、干ばつの影響により生産量が4.0百万トン、輸出量が1.6百万トン、輸入量が0.2百万トン下方修正された。この結果、期末在庫量が2.6百万トン下方修正された。

【生育進捗状況及び作柄】

主要産地であるアルゼンチン東部の多くで干ばつの影響を受け、1月26日に非常事態が宣言された。2月に入り降雨があったものの平年以下の降水量であり、土壌水分を回復させる程ではなかった。大豆の収穫進捗率は、4月22日現在で61.7%である。

【貿易情報】

輸出税に関する新たな制度の導入を巡り農牧団体等が昨年3月から断続的にストライキを実施。その後7月に同制度の関連法案は廃案となった。また、農家は昨年10月に引き続き2月20日から4日間の日程で、政府の農業政策に抗議するストライキを実施。3月も大豆の輸出税引き下げを求めて穀物の売却を拒否するストライキを行った。

〔我が国の輸入先国シェア4位（2008年数量ベース 2.3%）
世界の生産量シェア 4位（2008/09年度 7.7%）
輸入量シェア 1位（2008/09年度48.648.1%）〕

表－5 中国の大豆需給（市場年度：10月～翌年9月）

年 度	2006/07	2007/08 (見込み)	2008/09		
			予測値(Oil.W)	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	16.0	14.0	16.8 (16.4)	-	20.0
消費量	46.1	49.8	51.0	...	2.4
うち搾油用	36.0	39.5	40.6 (39.7)	-	2.7
輸 出 量	0.5	0.5	0.5	...	0.0
輸 入 量	28.7	37.8	36.0 (36.0)	-	▲ 4.8
期末在庫量	2.7	4.3	5.6	...	31.5
期末在庫率	5.8%	8.5%	10.9%	...	2.4
(参考)					
収穫面積(百万ha)	9.28	8.70	9.30 (9.55)	-	6.9
単収(t/ha)	1.72	1.61	1.81 (1.72)	-	12.4

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「Oilseeds: World Markets and Trade」、
「World Agricultural Production」、
OIL WORLD「OIL WORLD Monthly (March 27, 2009)」

〔世界の生産量シェア 3位（2008/09年度17.8%）
輸出量シェア 3位（2008/09年度13.6%）〕

表－6 アルゼンチンの大豆需給（市場年度：10月～翌年9月）

年 度	2006/07	2007/08 (見込み)	2008/09		
			予測値(Oil.W)	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	48.8	46.2	39.0 (42.5)	▲ 4.0	▲ 15.6
消費量	35.1	36.2	35.3	...	▲ 2.4
うち搾油用	33.6	34.6	33.7 (32.8)	-	▲ 2.6
輸 出 量	9.6	13.8	10.1 (10.3)	▲ 1.6	▲ 27.0
輸 入 量	2.0	3.0	1.8 (1.7)	▲ 0.2	▲ 40.7
期末在庫量	22.6	21.8	17.1 (24.5)	▲ 2.6	▲ 21.4
期末在庫率	50.6%	43.5%	37.7%	...	▲ 5.9
(参考)					
収穫面積(百万ha)	16.30	16.60	16.50 (16.80)	▲ 0.70	▲ 0.6
単収(t/ha)	2.99	2.78	2.36 (2.53)	▲ 0.14	▲ 15.1

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「Oilseeds: World Markets and Trade」、
「World Agricultural Production」、
OIL WORLD「OIL WORLD Monthly (March 27, 2009)」